

物語をもとに自分の考えを書く

〈イソップ童話から考える〉

組 番 氏名

上野さんは図書室で、「イソップ童話」という本を見つけ、その中の「ウサギとカメ」というお話が気になりました。次の二人の会話を読んで後の問いに答えましょう。

上野さん① この「ウサギとカメ」というお話を知っているかな。

内田さん② ウサギとカメのかけっこのお話でしょう。足の速いウサギはどんどん先へ行き、カメとの差がずいぶん開いたので、少しくらいは大丈夫だろうと途中でいねむりをしたんだよね。でもカメは、それを横目に少しも休むことなく着実に進み、ウサギが目を覚ましたときには、カメがゴール

上野さん③ そうそう。ところで私はこの話を読んで、主人公をウサギかカメのどちらかで考えることで、この話が伝えようとしていることが違っているようにみえるんだ。

内田さん④ どういうこと？

上野さん⑤ 例えば、ウサギを主人公として考えると、

「ウサギが油断したために、カメとのかけっこに負けた話」となるよね。

内田さん⑥ なるほど。ではカメを主人公として考えると、

①



となるということかな。

上野さん⑦ そうだね。その人の見方や考え方によって、話のとらえ方が違ってくるんだね。



主語が変わると、述語も変わります。あらすじをまとめるときには、

「○○が、△したために(によって)、△した話」といったようにまとめると分かりやすいですね。

(一)

①に当てはまる文章を「内

線部を参考に、「カメがく話」の文の形に合うように書きましょう。

カメが、休むことなく着実に進み続けたために、ウサギとのかけっこに勝った

話

【油断大敵】：ウサギが油断をして昼ねをしたために、失敗をしたことと重なるので、このことばはウサギを主人公とした話としてとらえた場合に当てはまりますね。

【あぶはちとらず】【雨降って地固まる】：ウサギもカメも両方を手に入れようとしたということや、悪いことの後によい結果になってはいないので、どちらも当てはまりません。

【雨垂れ石をうがつ】：カメが一步一步着実に根気よく歩き続けたことが、勝利につながったことと重なるので、この言葉はカメを主人公とした話としてとらえた場合に当てはまりますね。

ことば	ことばの説明
油断大敵	油断すると、思わぬ失敗を招くから、十分に気をつけるべきだ
あぶはちとらず	両方を手に入れようとすると、どちらも手に入らないことがある
雨垂れ石をうがつ	小さな力でも、根気よく続けていればいつか成果が得られる
雨降って地固まる	悪いことの後はかえって前より、よい結果や状態になるものだ

③ 次に、①と②をふまえ、意見文をのそれぞれのらんに、次の条件に合

**条件**

- ・【自分の経験】：……選んだ動物と似ている自分の経験を書くこと
- ・【これからの自分】：……これから自分が取り組みたいと考えることを【うったえかけ】と関係させながら書くこと。

故事成語やことわざなどには、昔の人の知恵や教えが込められています。これらの言葉を意味を正しく知り、日常の生活で使えるようになることが大切です。

【主人公に選んだ動物】  
 【うったえかけてくることば】

**解答例：油断大敵**

**【自分の経験】**

私(ぼく)にも、漢字テストの時に大丈夫だと思って見直しをしなかったために、間違いが多かった。という経験があり、このことばがぴったりの話だと考えます。

**【これからの自分】**

これからは、「うったえかけてくることば」が示すように、「大丈夫だろう」と油断することなく、十分気をつけて行動していけるようにしたいです。

【主人公に選んだ動物】

ウサギ

カメ

【うったえかけてくることば】

**解答例**：雨垂れ石をうがつ

【自分の経験】

私(ぼく)にも、剣道のすぶりを続けた結果、試合には負けたけれど、初めて一本を取ることができた。という経験があり、このことばがぴったりの話だと考えます。

【これからの自分】

これからは、「うったえかけてくることば」が示すように、少しの回数でもよいので、毎日のすぶりをずっと続け、試合で勝って喜べる日を迎えたい

です。